

# 平成27年3月期決算発表 補足資料

平成27年5月12日  
日本ガイシ株式会社

	26年3月期 通期 実績		27年3月期 通期 実績		前期比	28年3月期 通期 見通し		前期比
	億円	構成比	億円	構成比		億円	構成比	
売上高合計	3,087	100%	3,787	100%	+23%	4,200	100%	+11%
<海外売上高合計>	<2,097>	68%	<2,708>	72%	+29%	<3,000>	71%	+11%
営業利益 (%)	(14%) 443		(16%) 616		+39%	(16%) 680		+10%
電力関連事業	590	19%	728	19%	+23%	750	18%	+3%
営業利益 (%)	(-) △ 39		(-) △ 24		-	(-) 0		-
セラミックス事業	1,910	62%	2,272	60%	+19%	2,380	57%	+5%
営業利益 (%)	(24%) 450		(25%) 576		+28%	(24%) 580		+1%
エレクトロニクス事業	589	19%	788	21%	+34%	1,070	25%	+36%
営業利益 (%)	(5%) 31		(8%) 63		+103%	(9%) 100		+59%
セグメント間売上消去	△ 2		△ 1					

		(売上高比)		(売上高比)	前期比		(売上高比)	前期比
経常利益 (%)	458	(15%)	611	(16%)	+33%	690	(16%)	+13%
当期純利益 (%)	270	(9%)	415	(11%)	+53%	480	(11%)	+16%
ROE	8.6%		11.4%			11.7%		
1株利益	82.82円		127.11円			147.00円		
配当金(配当性向)	22円(26.6%)		28円(22.0%)			30円(20.4%)		

設備投資	284	(9%)	304	(8%)	+7%	560	(13%)	+84%
減価償却費	199	(6%)	255	(7%)	+28%	280	(7%)	+10%
研究開発費	121	(4%)	139	(4%)	+15%	160	(4%)	+15%

為替レート(円/\$)                      100                      110                      115  
 為替レート(円/€)                      134                      139                      125

平成27年3月期 実績 … 前期比 増収増益 売上高は過去最高を更新

## ①事業別業績概況

## 【電力関連】……………増収・赤字縮小

- ・がいし 北米・中近東・東南アジア向けの需要が堅調であったことに加えて国内電力会社の設備更新により避雷装置や配電機器の需要が増加し、増収・黒字化。
- ・NAS 海外大口案件出荷により増収。

## 【セラミックス】……………増収・増益

- ・自動車関連 米国・欧州・中国市場の自動車販売や日本・米国のトラック販売が堅調に推移。欧州・中国での新たな排ガス規制の適用もあり大幅に増収。
- ・産業プロセス 国内設備投資は回復基調で微増。

## 【エレクトロニクス】……………増収・増益

- ・半導体製造装置用製品 モバイル製品の増加を背景に需要が増加し増収。
- ・電子部品 2015年1月に買収したNGKエレクトロデバイス（旧：日鉄住金エレクトロデバイス）の1～3月期業績を反映し増収。
- ・金属 中国市場が活況で展伸材の需要が増加。

②為替影響： 前期比 売上高 +139億円、営業利益 +62億円  
（前期 100円→当期 110円/\$、134円→139円/€）

③特別損益 競争法関連損失引当金繰入額 93億円  
持分変動利益 35億円（持分法適用関連会社メタウォーター（株）の上場と新株発行による）  
（前期は固定資産減損 54億円、中国がいし子会社の清算損 29億円等を計上）

④配当 期末 15円（中間 13円とあわせ年間 28円、前期比+6円）

平成28年3月期 見通し … 4期連続 増収増益

## ①事業別業績概況

## 【電力関連】……………増収・ブレークイーブンを目指す

- ・がいし 海外は引き続き堅調。国内は電力会社の設備投資が回復基調。国内取替需要の取り込みと更なるコストダウンにより収益拡大を図る。
- ・NAS 前期に続き海外大口案件の出荷を予定も赤字が継続。コンテナ型パッケージの導入等によりコストダウンを促進する。

## 【セラミックス】……………増収・微増益

- ・自動車関連 米国・欧州・中国市場の堅調な乗用車販売が継続するほか、新興国の販売回復や排ガス規制強化が寄与し増収の見込み。増産投資の費用が先行し、利益は小幅増益に留まる。
- ・産業プロセス 医薬・電子・化学分野の景況改善により増収の見込み。

## 【エレクトロニクス】……………増収・増益

- ・電子部品 パッケージ事業の業績が通期で寄与し増収増益。
- ・半導体製造装置用製品 半導体メーカーの設備投資が継続し増収増益の見込み。
- ・金属 中国市場で展伸材の需要増が継続するも、国内の一時的な需要減により減収。

## ②為替影響

1円当たりの影響 \$(売上高 11億円、営業利益 4.6億円)、€ (売上高 5億円、営業利益 1.9億円)

③配当予想 中間 15円、期末 15円（年間 30円）

	26年3月期 第2四半期累計期間		27年3月期 第2四半期累計期間		28年3月期 第2四半期累計期間		前年 同期比
	実績	構成比	実績	構成比	見通し	構成比	
	億円		億円		億円		
売上高合計	1,418	100%	1,680	100%	2,100	100%	+25%
<海外売上高合計>	<960>	68%	<1,176>	70%	<1,500>	71%	+28%
営業利益(%)	197		(17%) 288		(17%) 350		+22%
電力関連事業	268	19%	282	17%	400	19%	+42%
営業利益(%)	(-) △ 8		(-) △ 16		(-) 0		-
セラミックス事業	874	62%	1,066	63%	1,170	56%	+10%
営業利益(%)	(22%) 194		(26%) 277		(25%) 290		+5%
エレクトロニクス事業	277	20%	333	20%	530	25%	+59%
営業利益(%)	(4%) 11		(8%) 27		(11%) 60		+124%

セグメント間売上消去

△ 1

△ 1

		(売上高比)		(売上高比)		(売上高比)	前年 同期比
経常利益(%)	196	(14%)	269	(16%)	340	(16%)	+27%
四半期純利益(%)	126	(9%)	201	(12%)	240	(11%)	+19%

設備投資	166	(12%)	112	(7%)	220	(10%)	+96%
減価償却費	93	(7%)	117	(7%)	135	(6%)	+15%
研究開発費	57	(4%)	62	(4%)	75	(4%)	+21%

為替レート(円/\$)

98

104

115

為替レート(円/€)

129

139

125